



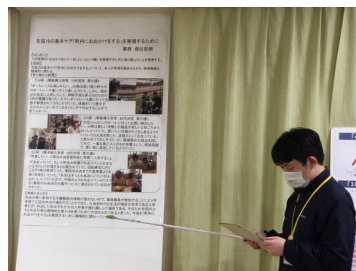
みぬま☆広場



生協10の基本ケアを
考慮した食事



担当利用者様の在宅
復帰を目指して



「町内にお出かけをする」
を実現するために



HPH スクワットの
取り組み



意欲低下のみられる方の
支援

みぬま学会スタート
ケアの質、利用者らしさを大切にケア、事故を分析など取り



買い物支援バスを運行して



ひやりはっと報告の分析



私のやっている仕事
5S活動



第17回目となるみぬま学会を開催しています。

第一日目はハンディキャップのある職員が取り組んできた業務内容の報告からスタートし、14演題の報告がありました。管理栄養士、介護福祉士、看護師、理学療法士、社会福祉士、事務職と、専門職種がそれぞれの専門性を活かした取り組み内容を報告しました。この日の優秀演題は「意欲低下のみられる方の支援」でした。利用者に寄り添い、願いをかなえるために様々なアプローチをし、徐々に活気を取り戻し離床時間が長くなったという報告です。みぬまの心が伝わる素晴らしい内容でした。

感染症対策のため、2月末日までは面会制限をさせていただきます。ご了承下さいませ。

みぬま管理部

新型コロナウイルスに関する情報です。下記に当てはまる方は保健所へ相談、ご連絡下さい。

発熱(37.5度以上)または呼吸器症状(咳、痰、呼吸困難、
息切れ)+新型コロナウイルス感染症患者と濃厚接触歴がある

○平日昼間(8時30分～17時15分)川口保健所 相談専用電話 048-423-6832

○土曜・日曜昼間(8時30分～17時15分)埼玉県保健医療政策課

感染症・新型インフルエンザ対策担当 048-830-3557

○夜間(17時15分～8時30分) 埼玉県救急電話相談 #7119

2月 みぬま☆広場

All Staff

Meeting



みぬまで定着し始めた**全職員会議**です。隔月で全職種、全職員が参加し、様々な学習を行っています。今回は

- ①生活習慣病と重症化予防に伴う食生活のヒント
- ②認知症ケア 帰宅願望の原因と対応・対策
- ③おじぎ体操・尻あげ体操 です。

グループワーク、実技でトレーニングを行い、より身になるよう工夫しています。

介護長 森田健一



こども食堂 始めます！

木曽呂地区にあります埼玉協同病院・老人保健施設みぬま、ケアセンターきょうどう、本部として、皆さまのお役に立ち、明るいまちづくりのお手伝いをするために、以下の社会貢献事業を始めました。

- ① 神戸団地地域での無償買い物支援バスの運行

昨年10月から月2回開始し、現在1回に8人前後の利用者がいます。

- ② フードドライブ：家庭で使いきれない食品をいただき（食品ロス削減）、必要な家庭に無償でお渡しする「地産地消」の社会貢献事業です。

昨年7月から開始し、これまで述べ50人以上の方からの寄付と60人以上の方々への食材提供を行ってきました。

今後は、老人保健施設みぬまの多目的ホールを利用して、子ども食堂を立ち上げる予定です。

子ども食堂は、孤立した子どもを地域で見守り、支援する活動として、川口市内でも地域の方々のご協力で、現在14か所開設されています。食材の提供や調理、遊び、学習の場の提供を通して、子どもから大人までのまさしく多世代の参加が得られ、地域の活性化につながっているとの報告があります。

無償で食事を提供するの子どもばかりでなく、孤立した地域住民の集いの場としても発展していくことを願っております。

つきましては、息の長い活動を行っていくために、使っていない食器や食材のご提供、ボランティアさんを募集しております。尚、寄付金なども受け付けております。

皆様の温かいご支援をお願いいたします。

協同病院・老健みぬま・ケアセンターきょうどう・医療生協本部職員一同

お問い合わせ代表：老健みぬま 高橋恵子 （電話048-294-9222）